

# 文芸 おまえぎき

## 俳句 おまえぎき俳句会

踏んでも踏んでも芽を出すという老という字 藤田操  
 あれもこれも食べさせたい母でいる 松井宏子  
 疲れた人間の声になってカラス鳴く 鈴木美穂  
 ありがとうがふくらんだキャベツ重い 増田葉子  
 「シンメトリー」とある並木道の悲劇 増田実の里  
 こんな世だから今を生きる今を 栗林純子  
 親の思い引き出しの一つ一つに 小野田重代  
 惨状・慟哭ひとかけらだけでも命残して 鈴木喜夫  
 思い出捨てた人は悲しみ置いていった 増森さく江  
 高齢という言葉とりあえず背中に置く 増森さく江

## 短歌 志留波短歌会

そらごとかと思ひみるまの映像に天津波は船を車を呑みゆく 伊村時代  
 予報に見し日の出の時刻待つとして広き海面の鳥と遊ぶも 大澤正江  
 震災地「岩沼」「角田」はかつての日同窓なりし友のふるさと 加藤えみ子  
 被災地はこれほどまでにと目を掩ふも我家の庭に桜草芽ぐむ 齋藤まつえ  
 夫逝きしも子等進む道あやまたず孫も今年は成人となる 澤入千鶴  
 吾れ思う三度の食事二度にして分ち合いたき被災者達と 澤部芳枝  
 一人居る部屋に物音錯覚すテレビの画面に津波迫り来 鈴木益代  
 あのホームこの施設にと入りし人らを話す友の背秋陽の疾し 松井和紗

# Books

## 図書館情報

### PICK\_01 一般

#### 夜の真義を



19世紀の夜間に包まれたロンドンの街路で人間を冷酷に刺し殺し男は眩く。これは仇敵を葬る予行演習だ。そんな場面で幕を開け、この男が殺しに至るまでの半生が語られ始める。流麗でダークな、ディケンズのごとく豊かな物語が供される。

マイケル・コックス／文藝春秋

### PICK\_02 子ども

#### 小説版ドラえもん のび太と鉄人兵団



のび太が北極で拾った物は、巨大ロボットの部品だった。鏡面世界でロボットを組み立てたのび太とドラえもん。しかしそれはビルを一撃で破壊する武器を持つ恐ろしいロボットだった。のび太たちはその存在を秘密にしようとするが。不朽の名作を小説化！

瀬名秀明／小学館

## 今月の新着図書

### ●一般

- 裏閻魔 (著者/中村ふみ)
- 地震防災学 (編著/大塚久哲)
- 女子校育ち (著者/辛酸なめこ)
- 小心者の幸福論 (著者/雨宮処凛)
- 平安朝の悪女たち (著者/三田誠広)
- 戦国武将のマネジメント術 (著者/童門冬二)
- 見てまなぶ日本人のふるまい (著者/小笠原敬承彦)
- ガラパゴス諸島完全ガイド (著作/「地球の歩き方」編集室)
- 花ならば花咲かんー会津藩家老・田中玄宰ー (著者/中村彰彦)

### ●子ども

- タイムカプセル (作/おだしんいちろう)
  - とんねる とんねる (ぶん・え/岩田明子)
  - ふしぎなまちのかおさがし (著者/阪東勲)
  - ゴエさんー大泥棒の長い約束ー (作/結城乃香)
  - 楽しいバスレクアイデアガイド [2] (編著/神代洋一)
  - パージャックーアウトローの掟ー (作者/SFサイド)
  - あつまれ! 全日本ごとうちグルメさん (文/ふくべあきひろ)
  - サムソン先生のダジャレ英語学習帳 (さく/よしながこうたく)
  - うちゅうじんはパンツがだいすき (文/クリア・フリードマン)
- ※この他にもたくさんのが、図書館に入っています。